

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年9月28日

和泉市長 あて

団体名 いこいの家 英
代表者名 荻田 三雄
所在地 和泉市万町2020
電話番号 0725-34-0852

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	共生社会における居場所作り事業
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> テップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	744,000 円 (うち、対象経費 600,000 円)
支援金 交付申請額	300,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イコイノイエ ハナブサ		
団体名	いこいの家 英（はなぶさ）		
団体の目的	障害が有っても高齢になっても、誰もが住み慣れた地域で豊かに暮らし続ける街づくりを目指し、地域福祉拠点となる事を目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-1118 和泉市万町2020 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ <u>その他</u> （いこいの場所）		
	電話	0725（34）0852	FAX 0725（34）0852
フリガナ	アシダ ミツオ		
代表者氏名	芦田 三雄		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	（連絡責任者氏名）※	電話	●●●●●●●●
	アシダ ミツオ	FAX	（ ）
	芦田 三雄	（住所）上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。	
設立年月	2022年 9月	主な活動地域	和泉中央駅隣接地域
会報等の発行	㊟（月1回発行）・無	会員数	26人
メールアドレス	●●●●●●●●●●		
ホームページ	http://		
主な事業内容	(1) 喫茶部門 (2) 高齢者、障がい者、地域の方々との交流の場 (3) 障がい者施設との連携 (4) お困り事110番（お出かけ支 (5) 各種講座の開催 （手話、語学、読書会、音楽会、生活向上、運動、eスポーツなど） (6) 福祉農園事業（自前農園、地元野菜等販売、加工品の販売） (7) 貸室事業（多目的室や厨房など）		
主な活動の実績	①喫茶部門（月～金10時から16時まで）の開店 ②各種講座（手話塾—毎週木曜日、お楽しみ会、健康講座、手芸講座、落語会など） ③はなぶさフェスター—2023年2月開催		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）
	2022年 度のみ	高齢者生きがい推進事業	2,000,000円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

②実施期間（日時）	2024年4月初めから2025年3月まで
③実施場所	いこいの家 英（はなぶさ）
④ 主な対象者	万町住民、和泉中央駅周辺住民、各障がい者施設
⑤参加予定者数	延べ 講座（100名×12ヶ月＝1,200名） イベント4回（100名×4回＝400名）合計1,600名
⑥告知方法	チラシ、Instagram、HP（作成準備中） 地方紙への投稿、市の広報
5 事業スケジュール	
時期（月）	内容 毎月定例会議にて、事業の実績、事業の計画を行う。 各講座は4月～翌3月まで毎月実施 フェスタは年4回 8月（夏まつり）、9月（創業祭） 12月（クリスマス会）、2月（はなぶさフェス）
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
①公益性	万町の旧村と新興住宅との橋渡しの場として活用してもらえる。 和泉中央駅から徒歩10分以内の所にあるので、周辺の方々も気軽に来れる場所にある。 障がい者施設、市、市社協、地域包括センター、CSW、ボランティアセンターなどとの連携を深めており、健康などの心配事を相談できる幅広い方々の居場所となる。
②継続性	喫茶部門、講座部門、生産物の販売、貸室部門などを行うことで、一定の収益を得る。 『福祉事業所とのサテライト機能』や『もったいない事業』の検討で①コーヒー豆の袋（ドンゴロス）利用、②ガーゼの端切れ再利用などの事業化を検討し、収益を確保する。
② 実行性	会員は、入会時に入会金（1万円）を払い、自分自らが働き、経営をする協同労働方式のもと参加しているため、開所以来、定例会を毎月実施していることで、会員全員が経営にかかわり、実行の為に工夫を行っている。 講座も、週企画、月企画、イベントも実施出来ている。
④協働性	桃山学院大学及び学生、近隣企業との協力関係が出来た。 ・大阪トヨペットと桃大生、英で、IT、昔遊びなどのイベント ・ご近所企業との夏まつり ・万町町会企画（万町フェス）への協力
⑤ 公開性	HP作成やInstagramにて講座のアップ チラシを万町町会、和泉中央駅周辺の住宅へ配布 地方紙（泉北コミュニティ）への掲載、j:comへのニュース配信 福祉関係部署への案内、宣伝
⑥発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	市民活動推進事業に申請することで、多くの市民に活動を知ってもらおう。 共生社会の実現の手法の一つとして、みんな食堂の実現する。 共生社会実現のモデル的居場所と意識して、分け隔てなく、色々なところと繋がり、市内各所に同様のコミュニティの場所が出来る事を願って活動、広報する。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 共生社会における居場所作り事業

1. 【収 入】 （単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	300,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	360,000	講座参加費 (300円×10人×10講座×12ヶ月)
自主財源	84,000	団体会計
合 計	744,000	

2. 【支 出】 （単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	360,000	定例会手話派遣者費用（6,000円×2名×12ヶ月＝144,000円） 各種講座講師謝礼（3,000円×6講座×12ヶ月＝216,000円）
報償費（対象外）	144,000	会員講師 3,000円×4講座×12ヶ月
消耗品	215,000	コピー用紙、インク代（10,000円） 消毒関係（5,000円） 紙コップ、コップホルダー他、箸、キッチンカ等（40,000円） 講座・イベント参加者飲料（100円×1,600人＝160,000円）
印刷費	10,000	チラシ（A4サイズ100枚×12ヶ月×5円＝6,000円） A3ポスター等
役務費	15,000	行事保険、ボランティア保険
合 計	744,000	
対象経費	600,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。